

＜審判上の注意事項＞

- 2023年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則及び競技要領に則り行います。
- ボールシステム、給水のためのタイムアウト、プレイングコート等について
 - 1ボールシステムとし、決勝戦のみ5ボールシステムとします。
 - 給水のためのタイムアウトは、室内温度30℃を越えた時は、給水のためのタイムアウトを適用します。
 - エンドライン後方6.5mの位置にサーブ制限ラインを引きます。
 - 決勝戦は競技者交代用ブザー、及びナンバー・バドルを使用します。
- 試合開始前
 - 監督は、プロトコール前、記録用紙に記載された競技者の氏名とナンバーを確認し、サインをする。(スターティング・リベロが決まっている場合は上の段に記入する。)
 - チーム・キャプテンは、試合開始前にチームを代表してトスを行い、記録用紙にサインする。
 - 各セット開始前に提出されたライン・アップ・シートの変更は、記録員が記録用紙に記入した後には認められない。
- 競技中
 - 競技の中断(タイム・アウト)は、監督により要求される。監督不在の場合はゲーム・キャプテンだけが要求できる。
 - 試合開始に遅れてきたチーム役員の着席は認められる。監督が試合に遅れてきた場合は、ゲームキャプテンが監督が来たことを審判へ口頭で伝えることで監督の権利を行使することができる。監督はそのセットもしくは試合終了後、記録用紙にサインする。
 - 競技の中断(タイム・アウト、競技者交代)の要求は、ノーカウント直後は認められない。(負傷や退場・失格によるやむを得ない場合の選手交代を除く)
 - 交代競技者が交代を要求する時は、コートに入る準備をして競技者交代ゾーンに入らなければならない。2組以上の交代競技者の場合、コートに入る2人目以降は副審がサイドラインへ誘導するまで後方で待機してください。
 - 監督は、試合中に試合を妨害あるいは遅延させない限り、自チームのベンチ前のフリー・ゾーン(アタック・ライン延長線からウォーム・アップ・ゾーン)の範囲内で立ったまま、あるいは歩きながらコート上の選手に指示することができる。
 - 試合中、相手チームに対して選手を牽制するような言動は認められない。
 - ① 相手チームの選手の名前や番号を特定するような行為については、罰則の対象となる。
 - ② 監督が線審の側で、アピールするようなライン判定をする行為についても罰則の対象となる。
 - すべての不法な行為に対する罰則は個人への罰則である。不法な行為を繰り返した場合は、累進的な罰則となる。
 - ① 「無作法な行為」及び「侮辱的な行為」については、そのプレーヤー、チーム役員個人に対し、試合全体を通して罰則が与えられる。
 - ② 「攻撃的な行為」については、1回目で失格とする。
- ワイピング行為について
 - クイック・モップパーは当該チームから2名まで配置することができる。服装は、ユニフォーム、ベンチスタッフの服装以外の統一された服装でなければなりません。ベンチの両サイドに1名ずつ待機し迅速に行ってください。
 - クイック・モップパーがいない場合は、コート上の選手が行うので、ワイピング用の布を保持すること。
 - 試合開始前、タイム・アウト、及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイックモップパーが必ず行うこと。
 - クイックモップパーが応援、及びチームのマネジメント行為(ドリンク、アイシング作り等)をすることは一切禁止する。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- リベロ・プレーヤーの取扱いについて
 - リベロ・プレーヤー(以下リベロとする)は、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
 - リベロが1名しかいなかった場合や、1名しか登録されていない場合、そのリベロがプレー出来なくなった時や、プレー出来なくなったと宣言された時には、監督はその時点でコート上にいない他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。この場合に限りリベロ・ピブスの着用(リベロ・ピブスはチームで準備をする)を認める。
 - リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。着用するユニフォームは、他の競技者とははっきりと区別がつく色(対照的な色)でなければならない。(例:競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸が白色で袖が紺色のような反対デザインものは禁止する) 2名のリベロのチームはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することができる。
 - リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上用いる場合、それぞれの同色を用いないように注意すること。
 - リベロ・ピブスの着用は認められない。(リベロの再指名の場合を除く)
 - 13名以上、選手登録するときは、必ず2名のリベロ・プレーヤーを含めなければならない。
 - リベロ・プレーヤーの再指名について ※競技規則参照
- 競技終了後
 - 監督、キャプテンは、フェアプレイの精神で試合終了後、審判員に対して挨拶(握手)をしてください。
※今大会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、握手を自粛してください。
 - キャプテンは、記録用紙にサインをすること。
- 学生役員(参加チーム)の任務について
※ 担当する試合のプロトコール開始までに記録席に集合すること。
 - ライン・ジャッジ
 - ① 自分の担当ライン(一人一線)をよく見て、正確なジャッジを行う。
 - ② アンテナ付近に関する判定は、自分の位置から確実に見えた時だけフラッグを振ること。
 - ③ 原則として途中交代は出来ない。
 - スコアラー
 - ① 公式記録となるので正確に記入する。
 - ② 点示員の点数に合わせることなく、自分の判断で点数を記入する。
 - ③ タイム・アウトの2回目及び、競技者交代の5回目と6回目は副審に伝えること。
 - ④ サーブ順の間違いが発覚した場合、サーブミス直後に、主審・副審に通知する。
 - 点示員
 - ① 主審がサイドを示した後、得点を入れること。
 - ② セット表示も行うこと。
 - ③ 常にスコアラーと連携を持ち、正確な点示を心がけること。
 - ボール・リトリバー
 - ① サーバーにボールを渡す際は、選手がコートのエンド・ラインを出たときにボールを投げること。
 - ② ラリー中は中腰姿勢で行い、座り込んだり、立ったりしないこと。
 - ③ ボールをサーバーに渡すとき以外は投げずに、迅速に床に転がすこと。